

年頭のご挨拶

一般社団法人 青森県薬剤師会
会長 白滝 貴子



令和 5 年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。青森県薬剤師会会員の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より本会の進める事業にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

先ずは昨年 8 月 3 日からの大雨により被災された会員におかれましては、謹んでお見舞い申し上げます。

新型コロナウイルス感染者が確認されてから 3 年が経過しました。その間、多くの薬局・薬剤師が自らの感染リスクもありながら、地域住民に対する抗原定性検査キットの提供、ワクチン接種体制への協力、PCR 検査後の投薬、自宅療養及び宿泊療養患者への薬剤交付と奔走されたかと思えます。そのような中、昨年 8 月に県から抗原定性検査キット販売に関わる営業時間延長の要請と抗原定性検査キットの無料配布事業への協力依頼があり、日々の業務で大変お忙しい中、沢山の会員の皆様にご協力頂きましたことを心より感謝申し上げます。

厚生労働省が、12 月 23 日に都道府県別の平均寿命を発表しました。残念なことに青森県は男女とも最下位という結果でした。青森県の短命の原因としては、高喫煙率、肥満（高カロリー摂取、運動不足）、アルコール多飲、その他としては経済状況、雪、健康意識レベル、教育レベル、高塩食、食品数の少なさ、健診の受診率の低さなどがあげられています。

今、薬局・薬剤師も大きな業務の転換に迫られており、多職種連携、適切な患者フォローアップ、一元的・継続的な薬物療法の提供とともに、地域住民の健康維持支援の拠点としてその役割を着実に果たすことが求められています。地域住民の健康維持支援という観点から、短命の原因のフォローとして、健康介護まちかど相談薬局事業の一つでもある禁煙サポート、管理栄養士と連携した地元の食材や素材を活用した食事指導、県内の多くのスポーツ協会と連携した地域ならではの運動の推奨など、地域住民にとって垣根の低い薬局・薬剤師の活動は、まだたくさん残されていると思います。

今後は、青森県の実情に応じた医療提供体制の確保の図るための基本計画でもある、青森県保健医療計画の推進に向けて、我々薬剤師も地域で必要とされる役割を担えるよう会員が一丸となって取り組んでまいりたいと思いますので、今後とも会員の皆様の本会事業へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。新年の挨拶といたします。